

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産	
信託期間	2020年2月19日まで（2015年2月27日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	世界CoCosオープン為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	ワールド・ココス・ファンドアンヘッジド・クラス受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	ワールド・ココス・ファンドアンヘッジド・クラス	世界各国の金融機関が発行するCoCos
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 ・信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 ・保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・1発行体等あたりの株式等、債券等およびデリバティブ等の当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とします。 	
分配方針	毎月19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）

愛称：ココマスター



第11期（決算日：2016年3月22日）
 第12期（決算日：2016年4月19日）
 第13期（決算日：2016年5月19日）
 第14期（決算日：2016年6月20日）
 第15期（決算日：2016年7月19日）
 第16期（決算日：2016年8月19日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）（愛称：ココマスター）」は、去る8月19日に第16期の決算を行いましたので、法令に基づいて第11期～第16期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

投資対象ファンドのご報告

◇ワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラス	15
◇マネー・プール マザーファンド	19

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金 期 騰 落 中 率			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 比	純 資 産 総 額
		分 配	金	中 率				
(設定日) 2015年2月27日	円 10,000	—	—	%	%	%	—	百万円 1,497
1期(2015年5月19日)	10,160	25	—	1.9	0.0	—	98.0	1,836
2期(2015年6月19日)	10,225	25	—	0.9	0.0	—	98.0	1,960
3期(2015年7月21日)	10,381	25	—	1.8	0.0	—	98.0	1,985
4期(2015年8月19日)	10,361	25	—	0.0	0.0	—	98.0	1,967
5期(2015年9月24日)	10,104	25	—	△2.2	0.0	—	98.0	1,595
6期(2015年10月19日)	9,912	25	—	△1.7	0.0	—	98.0	1,379
7期(2015年11月19日)	10,176	25	—	2.9	0.0	—	98.0	1,313
8期(2015年12月21日)	9,994	25	—	△1.5	0.0	—	98.0	1,117
9期(2016年1月19日)	9,397	25	—	△5.7	0.0	—	98.4	993
10期(2016年2月19日)	8,725	25	—	△6.9	0.0	—	98.0	890
11期(2016年3月22日)	8,865	25	—	1.9	0.0	—	98.0	860
12期(2016年4月19日)	8,471	25	—	△4.2	0.0	—	98.0	809
13期(2016年5月19日)	8,587	25	—	1.7	0.0	—	98.0	819
14期(2016年6月20日)	8,122	25	—	△5.1	0.0	—	98.0	742
15期(2016年7月19日)	8,240	25	—	1.8	0.0	—	98.0	705
16期(2016年8月19日)	8,080	25	—	△1.6	0.0	—	98.0	655

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 比	信 託 券 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第11期	(期 首) 2016年2月19日	円 8,725	% —	% 0.0	% —	% —	% 98.0
	2月末	8,490	△2.7	0.0	—	—	98.0
	(期 末) 2016年3月22日	8,890	1.9	0.0	—	—	98.0
第12期	(期 首) 2016年3月22日	8,865	—	0.0	—	—	98.0
	3月末	8,879	0.2	0.0	—	—	98.0
	(期 末) 2016年4月19日	8,496	△4.2	0.0	—	—	98.0
第13期	(期 首) 2016年4月19日	8,471	—	0.0	—	—	98.0
	4月末	8,810	4.0	0.0	—	—	98.0
	(期 末) 2016年5月19日	8,612	1.7	0.0	—	—	98.0
第14期	(期 首) 2016年5月19日	8,587	—	0.0	—	—	98.0
	5月末	8,752	1.9	0.0	—	—	98.5
	(期 末) 2016年6月20日	8,147	△5.1	0.0	—	—	98.0
第15期	(期 首) 2016年6月20日	8,122	—	0.0	—	—	98.0
	6月末	7,850	△3.3	0.0	—	—	98.0
	(期 末) 2016年7月19日	8,265	1.8	0.0	—	—	98.0
第16期	(期 首) 2016年7月19日	8,240	—	0.0	—	—	98.0
	7月末	8,323	1.0	0.0	—	—	98.0
	(期 末) 2016年8月19日	8,105	△1.6	0.0	—	—	98.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第11期～第16期：2016/2/20～2016/8/19）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	CoCos市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	保有する外貨建資産の各通貨が円に対して下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第11期～第16期：2016/2/20～2016/8/19）

◎C o C o s 市況

- ・当作成期を通してみると、C o C o s 市況は上昇しました。
- ・C o C o s 市況は、米国の追加利上げ観測が後退したことや、E C B（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を実施したことなどから欧米金利が低下したことに加え、欧州で実施された主要銀行に対するストレステストが概ね良好な結果となり、クレジットスプレッドが縮小したことなどから、上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドル、ユーロおよび英ポンドは、米国の追加利上げ観測が後退したことや、2016年7月に発表された日銀の追加金融緩和策の内容が市場予想を下回るものであったことに加え、6月に英国で実施された国民投票でE U（欧州連合）離脱が選択されたことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産と見られている円が買われたことなどから、対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利はおおむね0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用開始を受けて、足下ではマイナス0.04%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはおおむねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。作成期首から2016年4月初旬にかけての国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%前後で推移していましたが、4月下旬にかけて急低下となり、一時的にマイナス0.3%を下回りました。その後、マイナス0.25%前後で推移していたものの、7月初旬に再度マイナス0.3%を下回りました。作成期末にかけての国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、7月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利幅の拡大などが見送られたことや9月の金融政策決定会合で金融政策の総括的な検証を行うとの決定が追加緩和の限界を連想させたことなどから上昇傾向となり、足下ではマイナス0.24%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）＞

- ・ 当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラスの受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

＜ワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラス＞

- ・ 世界各国の金融機関が発行するCoCosに投資を行い、保有する外貨建資産について、為替ヘッジは行いませんでした。
- ・ ポートフォリオの構築にあたっては、経済や金利などのマクロ的な投資環境の予測を基にしたトップダウン・アプローチと、個々の発行体の債務返済能力等を調査・分析するボトムアップ・アプローチを統合的に活用し、クレジット・ファンダメンタルズ（財務状況の基礎的条件）を重視した銘柄選択を実施しました。主として相対的に高い利回りが期待されるCoCosに分散投資を行いました。
- ・ 経済環境が良好な国で事業を行っている発行体、かつ発行体の資本、流動性、リスクなどが改善傾向にあると考える銘柄を選好した結果、国別では、英国やフランス、スイスなどの組み入れが高位となりました。
- ・ 銘柄では、発行体の財務健全性やバリュエーション（投資価値基準）などを勘案し、エルステ・グループ・バンクなどを組み入れた一方、インタサ・サンパオロなどを売却しました。
- ・ 当作成期は、保有していたクレディ・アグリコルやサンタンデール銀行の価格が上昇したことなどがポートフォリオのリターンにプラスとなりましたが、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で下落したことなどがマイナスとなりました。

(ご参考)

銘柄格付別組入比率

(現地2016年7月末)

格付	比率
AAA	—
AA	—
A	—
BBB	13.7%
BB	70.3%
B	14.9%
CCC	—
CC以下	—
格付けなし	—

通貨別組入比率

(現地2016年7月末)

通貨	比率
ユーロ	45.3%
米ドル	45.0%
英ポンド	8.6%
キャッシュ等	1.1%
合計	100.0%

※比率はワールド・ココス・ファンド全体の純資産総額に対する割合です。

※キャッシュ等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※保有している証券に係る格付けにおいて、S & P社、Moody's社およびFitch社により格付けが付与されている銘柄については、最も高い格付けをS & P社の表示方法で表記しています。(格付けのデータ出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)

(注) 当記載は、ワールド・ココス・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ下落となりました。
- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、作成期末にかけての金利上昇により保有債券の評価額が下落したことなどから、基準価額は作成期首と比べて下落となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2016年2月20日～ 2016年3月22日	2016年3月23日～ 2016年4月19日	2016年4月20日～ 2016年5月19日	2016年5月20日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月19日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.281%	0.294%	0.290%	0.307%	0.302%	0.308%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	558	586	616	639	665	688

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）＞

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラスの受益証券を主要投資対象とします。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券へも投資を行います。

＜ワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラス＞

◎運用環境の見通し

- ・足下で世界景気に対する減速懸念がくすぶっていることや政治に対する不透明感が広がっていることが市場の変動性を高める要因となっています。一方、2016年7月に発表された欧州銀行のストレステスト結果が示唆するように、欧州金融機関の中長期的なファンダメンタルズは一部を除き底堅いものと考えています。なお、バーゼルⅢ（金融機関の自己資本の「質」と「量」の強化を目的とした新たな自己資本比率規制）の導入によって、銀行セクターが自己資本の強化やレバレッジ解消を進めていることも、銀行セクターのリスク低下の要因となっています。またCoCosは、新しい資産クラスであることや構造が複雑であることから市場の理解は十分に進んでいない面もあります。こうした銀行セクターやCoCosへの市場の理解が進む過程において、CoCosへの需要は今後更に高まっていくとみています。こうした見通しの下、スプレッド水準はファンダメンタルズ対比で高い水準にあり、比較的高いインカム収入とスプレッドの縮小の可能性から、CoCosには投資機会があるとみています。

◎今後の運用方針

- ・世界各国の金融機関が発行するCoCosに投資を行い、保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行わない方針です。
- ・資本、流動性、リスクなどの面で改善が続くことが見込まれる発行体について、クレジット・ファンダメンタルズに基づき投資を行う方針です。加えて、事業環境の改善が見込まれる国で事業を行っている発行体を重視した運用を継続します。また、足下のバリュエーションは引き続き魅力的な水準にあるとみており、市場動向を注視しつつ、投資機会を探っていく方針です。

（注）当記載は、ワールド・ココス・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

＜マネー・プール マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が下落したことや為替が円高に推移した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

（2016年2月20日～2016年8月19日）

項目	第11期～第16期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.553%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(16)	(0.188)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(30)	(0.349)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	47	0.555	
作成期中の平均基準価額は、8,517円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年2月20日～2016年8月19日)

投資信託証券

銘	柄	第11期～第16期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	ワールド・コス・ファンド アンヘッジド・クラス	千口 5	千円 43,024	千口 24	千円 199,800

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月20日～2016年8月19日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年8月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第10期末	第16期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
ワールド・コス・ファンド	アンヘッジド・クラス	千口 102	千口 82	千円 642,214	% 98.0
合	計	102	82	642,214	98.0

(注) 比率は世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第10期末	第16期末	
		口 数	口 数	評 価 額
マネー・プール	マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

○投資信託財産の構成

（2016年8月19日現在）

項 目	第16期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 642,214	% 97.0
マネー・プール マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	19,906	3.0
投資信託財産総額	662,130	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第11期末	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末
	2016年3月22日現在	2016年4月19日現在	2016年5月19日現在	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	872,358,243	812,359,038	822,921,014	745,846,019	708,373,193	662,130,767
コール・ローン等	20,687,920	18,985,355	19,339,844	17,833,176	16,503,740	15,806,327
投資信託受益証券(評価額)	843,160,320	793,163,680	803,471,168	727,902,840	691,559,451	642,214,440
マネー・プール マザーファンド(評価額)	10,003	10,003	10,002	10,003	10,002	10,000
未収入金	8,500,000	200,000	100,000	100,000	300,000	4,100,000
(B) 負債	11,936,664	3,101,004	3,141,395	3,365,876	2,765,616	6,789,795
未払金	—	—	—	300,000	—	—
未払収益分配金	2,426,406	2,388,310	2,386,706	2,285,444	2,140,779	2,027,756
未払解約金	8,657,497	—	—	—	—	4,109,556
未払信託報酬	849,473	709,882	751,726	777,394	622,406	649,946
未払利息	—	48	33	30	25	22
その他未払費用	3,288	2,764	2,930	3,008	2,406	2,515
(C) 純資産総額(A-B)	860,421,579	809,258,034	819,779,619	742,480,143	705,607,577	655,340,972
元本	970,562,483	955,324,079	954,682,469	914,177,661	856,311,962	811,102,597
次期繰越損益金	△110,140,904	△146,066,045	△134,902,850	△171,697,518	△150,704,385	△155,761,625
(D) 受益権総口数	970,562,483口	955,324,079口	954,682,469口	914,177,661口	856,311,962口	811,102,597口
1万円当たり基準価額(C/D)	8,865円	8,471円	8,587円	8,122円	8,240円	8,080円

○損益の状況

項 目	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2016年2月20日～ 2016年3月22日	2016年3月23日～ 2016年4月19日	2016年4月20日～ 2016年5月19日	2016年5月20日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,418,043	5,746,613	5,600,815	5,101,037	4,620,842	4,558,634
受取配当金	5,418,013	5,746,684	5,601,866	5,101,818	4,621,485	4,559,260
受取利息	30	—	—	16	18	6
支払利息	—	△ 71	△ 1,051	△ 797	△ 661	△ 632
(B) 有価証券売買損益	11,433,624	△ 40,300,042	8,605,628	△ 44,553,522	8,270,121	△ 14,892,190
売買益	12,315,274	62,124	8,632,210	577,439	10,257,721	604,068
売買損	△ 881,650	△ 40,362,166	△ 26,582	△ 45,130,961	△ 1,987,600	△ 15,496,258
(C) 信託報酬等	△ 852,761	△ 712,646	△ 754,637	△ 780,402	△ 624,812	△ 652,461
(D) 当期繰損益金 (A + B + C)	15,998,906	△ 35,266,075	13,451,806	△ 40,232,887	12,266,151	△ 10,986,017
(E) 前期繰越損益金	△ 126,127,738	△ 110,634,742	△ 147,978,680	△ 130,920,304	△ 162,216,541	△ 143,862,551
(F) 追加信託差損益金	2,414,334	2,223,082	2,010,730	1,741,117	1,386,784	1,114,699
(配当等相当額)	(5,074,728)	(5,061,993)	(5,131,042)	(4,985,716)	(4,745,373)	(4,563,143)
(売買損益相当額)	(△ 2,660,394)	(△ 2,838,911)	(△ 3,120,312)	(△ 3,244,599)	(△ 3,358,589)	(△ 3,448,444)
(G) 計 (D + E + F)	△ 107,714,498	△ 143,677,735	△ 132,516,144	△ 169,412,074	△ 148,563,606	△ 153,733,869
(H) 収益分配金	△ 2,426,406	△ 2,388,310	△ 2,386,706	△ 2,285,444	△ 2,140,779	△ 2,027,756
次期繰越損益金 (G + H)	△ 110,140,904	△ 146,066,045	△ 134,902,850	△ 171,697,518	△ 150,704,385	△ 155,761,625
追加信託差損益金	2,414,334	2,223,082	2,010,730	1,741,117	1,386,784	1,114,699
(配当等相当額)	(5,074,728)	(5,061,993)	(5,131,042)	(4,985,716)	(4,745,373)	(4,563,143)
(売買損益相当額)	(△ 2,660,394)	(△ 2,838,911)	(△ 3,120,312)	(△ 3,244,599)	(△ 3,358,589)	(△ 3,448,444)
分配準備積立金	49,144,180	50,951,310	53,761,278	53,443,121	52,241,231	51,293,235
繰越損益金	△ 161,699,418	△ 199,240,437	△ 190,674,858	△ 226,881,756	△ 204,332,400	△ 208,169,559

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,020,193,022円
 作成期中追加設定元本額 7,989,480円
 作成期中一部解約元本額 217,079,905円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8080円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は155,761,625円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2016年2月20日～ 2016年3月22日	2016年3月23日～ 2016年4月19日	2016年4月20日～ 2016年5月19日	2016年5月20日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月19日
費用控除後の配当等収益額	5,143,881円	5,033,970円	5,303,341円	4,320,640円	4,396,851円	3,906,177円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	5,074,728円	5,061,993円	5,131,042円	4,985,716円	4,745,373円	4,563,143円
分配準備積立金額	46,426,705円	48,305,650円	50,844,643円	51,407,925円	49,985,159円	49,414,814円
当ファンドの分配対象収益額	56,645,314円	58,401,613円	61,279,026円	60,714,281円	59,127,383円	57,884,134円
1万口当たり収益分配対象額	583円	611円	641円	664円	690円	713円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	2,426,406円	2,388,310円	2,386,706円	2,285,444円	2,140,779円	2,027,756円

○分配金のお知らせ

	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
1万円当たり分配金(税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
 - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
 - ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われず。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年8月19日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体（229,581千円）の内容です。

国内公社債

(A)国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第16期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 150,000	千円 150,222	% 65.1	% —	% —	% —	% 65.1
合 計	150,000	150,222	65.1	—	—	—	65.1

（注）組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（注）現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	第16期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第282回利付国債（10年）	1.7	150,000	150,222	2016/9/20
合 計		150,000	150,222	

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラス
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 2. 信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 3. 保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 4. 資金動向や市況動向等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投資顧問会社	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2015年2月27日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー」について
 ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つであり、グローバルに事業を展開しています。また、CoCosが初めて発行された2009年からCoCosへの投資を行っています。

ワールド・コス・ファンド

損益計算書、有価証券明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2015年12月31日終了年度（2015年2月27日～2015年12月31日）

米ドル

収益	
受取配当金	-
債券の利息	3,178,793.30
その他の収益	17,763.30
	3,196,556.60
費用	
管理者報酬	(48,439.58)
創業費償却	(3,046.50)
デリバティブ管理代行手数料	(23,514.43)
投資顧問料	(284,150.54)
運用受託報酬	(5,163.86)
その他の費用	(45,760.22)
専門家報酬	(18,320.09)
サブカस्टディアン費用	(4,298.82)
受託者報酬	(10,359.84)
	(443,053.88)
投資純損益	2,753,502.72
投資証券売却に係る実現純損益	(528,224.64)
為替予約取引に係る実現純損益	56,358.97
その他の外国為替取引に係る実現純損益	(184,736.95)
先物取引に係る実現純損益	-
オプション取引に係る実現純損益	(17,541.31)
当期実現純損益	(674,143.93)
未実現評価損益の純変動：	
- 投資	(860,088.19)
- 為替予約取引	22,403.00
- その他の外国為替取引	4,069.95
- 先物取引	-
- オプション取引	244,875.94
	(588,739.30)
営業活動による純資産の減少（純額）	1,490,619.49

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 有価証券明細表

(2015年12月31日現在)
(米ドルで表示)

銘柄 債券	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
<i>BELGIUM</i>					
KBC GROEP NV FRN PERPETUAL	EUR	3,525,000	3,903,514.24	3,855,587.56	7.52%
			3,903,514.24	3,855,587.56	7.52%
<i>FRANCE</i>					
CREDIT AGRICOLE SA FRN PERPETUAL	GBP	900,000	1,418,769.03	1,316,293.74	2.57%
CREDIT AGRICOLE SA FRN PERPETUAL	USD	600,000	635,650.00	614,418.00	1.20%
SOCIETE GENERALE SA FRN PERPETUAL	USD	2,250,000	2,398,106.25	2,389,927.54	4.66%
			4,452,525.28	4,320,639.28	8.43%
<i>IRELAND</i>					
ALLIED IRISH BANKS PLC FRN PERPETUAL	EUR	1,510,000	1,620,407.74	1,672,888.29	3.26%
BANK OF IRELAND FRN PERPETUAL	EUR	3,045,000	3,410,714.64	3,480,778.14	6.79%
			5,031,122.38	5,153,666.43	10.05%
<i>NETHERLANDS</i>					
COOPERATIEVE CENTRALE RAIFFEISEN- BOERENLEENBANK BA/NETHERLANDS FRN PERPETUAL	EUR	3,600,000	4,155,837.75	3,987,714.37	7.77%
			4,155,837.75	3,987,714.37	7.77%
<i>SPAIN</i>					
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA SA FRN PERPETUAL	EUR	2,800,000	3,142,025.27	2,997,109.08	5.84%
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA SA FRN PERPETUAL	USD	800,000	876,000.00	860,008.00	1.68%
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA SA FRN PERPETUAL	EUR	200,000	224,830.01	215,072.35	0.42%
BANCO SANTANDER SA FRN PERPETUAL	EUR	2,600,000	2,869,171.48	2,665,301.51	5.20%
			7,112,026.76	6,737,490.94	13.14%
<i>SWITZERLAND</i>					
CREDIT SUISSE GROUP AG FRN PERPETUAL	USD	3,500,000	3,486,884.75	3,500,629.92	6.83%
UBS GROUP AG FRN PERPETUAL	USD	2,625,000	2,741,575.24	2,754,464.98	5.37%
UBS GROUP AG FRN PERPETUAL	USD	1,130,000	1,130,000.00	1,119,536.17	2.18%
			7,358,459.99	7,374,631.07	14.38%
<i>UNITED KINGDOM</i>					
BARCLAYS PLC FRN PERPETUAL	GBP	1,300,000	1,981,749.28	1,896,126.14	3.70%
BARCLAYS PLC FRN PERPETUAL	EUR	400,000	474,108.41	474,689.22	0.93%
BARCLAYS PLC FRN PERPETUAL	USD	300,000	299,812.50	297,095.99	0.58%
BARCLAYS PLC FRN PERPETUAL	USD	1,225,000	1,311,533.36	1,306,854.49	2.55%
HSBC HOLDINGS PLC FRN PERPETUAL	EUR	550,000	628,145.79	593,201.68	1.16%
LLOYDS BANKING GROUP PLC FRN PERPETUAL	GBP	2,650,000	4,125,096.82	4,003,699.74	7.80%
NATIONWIDE BUILDING SOCIETY FRN PERPETUAL	GBP	2,350,000	3,641,432.06	3,507,819.94	6.84%

(2015年12月31日現在)
(米ドルで表示)

銘柄	通貨	額面／数量	原価	時価	純資産比率
<i>UNITED KINGDOM (continued)</i>					
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP PLC FRN PERPETUAL	USD	2,455,000	2,455,000.00	2,549,763.01	4.97%
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP PLC FRN PERPETUAL	USD	680,000	680,000.00	719,174.81	1.40%
SANTANDER UK GROUP HOLDINGS PLC FRN PERPETUAL	GBP	760,000	1,174,880.33	1,147,002.09	2.24%
			16,771,758.55	16,495,427.11	32.17%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			48,785,244.95	47,925,156.76	93.46%
CASH AT BANKS				2,817,245.76	5.49%
OTHER NET ASSETS				536,031.68	1.05%
TOTAL NET ASSETS				51,278,434.20	100.00%

(in % of net assets)

UNITED KINGDOM	32.17%
SWITZERLAND	14.38%
SPAIN	13.14%
IRELAND	10.05%
FRANCE	8.43%
NETHERLANDS	7.77%
BELGIUM	7.52%
	93.46%

マネー・プール マザーファンド

《第14期》決算日2016年7月14日

[計算期間：2016年1月15日～2016年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2014年7月14日)	10,045		0.0	93.4	—	1,284
11期(2015年1月14日)	10,047		0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049		0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—	241

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		期騰	落率			
(期首) 2016年1月14日	円 10,049		% —	% 70.3	% —	% —
1月末	10,050		0.0	95.3	—	—
2月末	10,053		0.0	73.3	—	—
3月末	10,050		0.0	52.3	—	—
4月末	10,050		0.0	83.1	—	—
5月末	10,051		0.0	79.8	—	—
6月末	10,050		0.0	62.7	—	—
(期末) 2016年7月14日	10,050		0.0	62.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

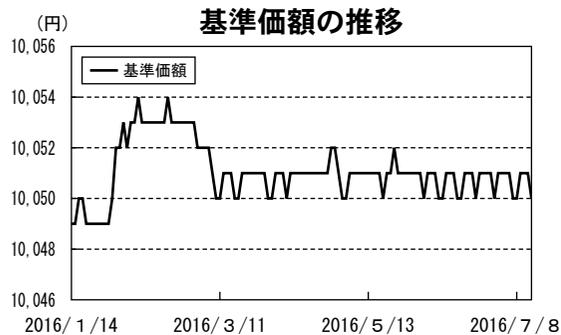
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第14期：2016/1/15～2016/7/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べて0.01%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

保有債券の評価額の上昇が、基準価額のプラスに寄与しました。

投資環境について

(第14期：2016/1/15～2016/7/14)

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用開始を受けて足元はマイナス0.05%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。2016年1月の日銀の金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると一時的にマイナス0.2%程度まで急低下したものの、急低下の反動からマイナス0.1%程度まで上昇しました。その後、再び低下傾向となり、足元ではマイナス0.3%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・基準価額は期首に比べて上昇しました。
- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、日銀のマイナス金利導入による金利低下を受けて保有債券の評価額が上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が下落したことや為替が円高に推移した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月15日～2016年7月14日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (その他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,050円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月15日～2016年7月14日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 100,061	千円 220,269 (326,500)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 699,999	千円 699,999

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月15日～2016年7月14日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年7月14日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 150,000	千円 150,511	% 62.2	% —	% —	% —	% —	% 62.2
合 計	150,000	150,511	62.2	—	—	—	—	62.2

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第282回利付国債(10年)	1.7	150,000	150,511	2016/9/20
合 計		150,000	150,511	

○投資信託財産の構成

(2016年7月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 150,511	% 61.8
コール・ローン等、その他	93,070	38.2
投資信託財産総額	243,581	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	243,581,074
コール・ローン等	92,259,198
公社債(評価額)	150,511,500
未収利息	810,376
(B) 負債	1,767,210
未払解約金	1,767,071
未払利息	139
(C) 純資産総額(A-B)	241,813,864
元本	240,621,739
次期繰越損益金	1,192,125
(D) 受益権総口数	240,621,739口
1口当たり基準価額(C/D)	10,050円

<注記事項>

- ①期首元本額 847,818,437円
 期中追加設定元本額 640,661,743円
 期中一部解約元本額 1,247,858,441円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0050円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追従型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,372,283円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,983,878円
マネー・プール・ファンドIV	977,506円
マネー・プール・ファンドVI	127,451,917円

○損益の状況 (2016年1月15日～2016年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,927,574
受取利息	1,936,538
支払利息	△1,877,964
(B) 有価証券売買損益	△1,877,353
売買損	△1,877,353
(C) 保管費用等	△58
(D) 当期損益金(A+B+C)	50,163
(E) 前期繰越損益金	4,187,341
(F) 追加信託差損益金	3,311,581
(G) 解約差損益金	△6,356,960
(H) 計(D+E+F+G)	1,192,125
次期繰越損益金(H)	1,192,125

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・プール・ファンドⅦ (適格機関投資家専用)	976,455円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドⅤ (年2回決算型)	32,862,095円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド (毎月決算型)	999円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997円
リスク・パリティαオープン	995円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円

国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	12,684,974円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	2,254,773円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	240,621,739円

[お知らせ]

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため(分散型に分類)、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。(2016年7月1日)